

活動報告書

岡山リトルベビーサークル toiro （岡山県）

1. 2022年7月～2023年4月（主な活動）

2022.

7月 オンライン交流会（参加者6名）

8月 オンライン交流会（参加者3名）

9月 オンライン交流会（参加者4名）

11月 世界早産児デーのイベントとして、フォトブックを作成
対面交流会（参加家族5組、くらしき健康福祉プラザにて開催）

2023

1月 オンライン交流会（参加者7名）

訪問看護ステーション1事業所の看護師と意見交換

2月 オンライン交流会（参加者3名）

3月 岡山医療センターにて「おかやまりトルベビーハンドブック」贈呈式に出席

4月 対面交流会（参加家族5組、三井アウトレットパーク倉敷内のスペースにて開催）

※「晴れの国おかやまりトルベビーハンドブック」の作成にも協力し、岡山県庁とメールやZOOM、県庁内で何度も打ち合わせを行い、2023年3月に岡山県もリトルベビーハンドブックが完成しました。

完成にあたり、山陽新聞、朝日新聞にて記事掲載、NHK総合「岡山ニュース もぎたて！」内でハンドブックの完成について、リトルベビーやその家族について取り上げていただき放送されました。

2. 対面交流会の報告



- 1) 日時 : 2023年4月30日(日) 10:00~12:00
- 2) 場所 : 三井アウトレットパーク カフェテリア内
- 3) 参加家族 : 5組 + 訪問看護ステーション看護師1名

4) 所感 : 感染症の影響にて毎月の交流会はオンラインで行っていましたが、季節も過ぎやすくなり **toiro** として2回目となる対面での交流会を企画しました。当日はママやパパが少しでも話せる時間ができるようにと託児で県内の訪問看護に携わっている看護師さんも参加して下さいました。このように私達の活動を応援して下さいるサポーターの存在は本当にありがたく、当日は安心して当事者同士の交流を深めることができました。

対面での交流会では、近況報告以外にも子ども同士を遊ばせお互いの子ども達の成長を喜び合えたりとオンラインよりも繋がりを強く感じることができ、今後も対面での交流会を継続していきたいと考えています。しかし、小さい子や兄弟時を抱えての準備や移動も大変なことや時期によっては感染症の流行もあることから、今後もオンラインも併用しながら交流会を継続していきたいと思っています。

3. 世界早産児デー



世界早産児デーには、ライトアップ・フォトブックの作成と2つの取り組みを行い、それぞれの取り組みについてはテレビや新聞などのメディアでも取り上げていただきました。

【ライトアップ】

2022年11月1日~10日まで岡山県新見市神郷下神代にある「親子孫水車」を世界早産児デーのシンボルカラーの紫にライトアップ

11月6日 NHK総合「岡山ニュース もぎたて！」内にて放送

11月8日 山陽新聞 高梁・新見圏版に記事掲載

【フォトブック作成】

11月17日の世界早産児デーにあわせて、NICUがある県内6医療機関にフォトブックを寄贈しました。小さく生まれた赤ちゃんを育てる13組の家族（生後3ヵ月～9歳）より写真（生まれた頃、生まれた頃～現在、現在）とメッセージを頂き、全48ページで作成しました。

小さく生まれた赤ちゃんの親の多くは産後、自責の念にかられたり、戸惑い、我が子の将来への不安、発達・発育の不安を募らせます。周囲に同じような経験をした人がおらず、小さく生まれた子の成長のイメージが持てないことが余計に不安をかきたてることにもなることから、フォトブックを通じて同じように小さく生まれた赤ちゃんの頑張りや軌跡を目にすることで、NICUに面会に来られたご家族が少しでも不安が軽減できたり、将来への希望・光を見出してもらえたらよいと考え、NICUやGCUで頑張っている家族宛てへのメッセージも盛り込み作成しました。

寄贈した病院から感謝のお言葉を頂くとともに、実際に待合室でフォトブックを手にしたご家族よりサークルへ問い合わせもあり、サークル参加にも繋がりました。今後も世界早産児デーに合わせてのイベントは継続していきたいと思っています。

11月21日 山陽新聞に記事掲載